

令和7年7月25日

クマを寄せ付けない環境の改善

～クマが嫌がる音を出す忌避音響装置を設置！～

市内でツキノワグマの目撃情報が相次ぎ、市民生活への影響が高まっていることから、7月3日に危機管理対策本部を設置し全庁的に対策を行っています。

対策本部で決定したクマ対策強化方針のクマを寄せ付けない環境の改善として「忌避音響装置」を設置に向け準備を進めます。

また、出没抑制総合対策事業を新たに追加実施し、地域住民の皆さんが主体的に実施するクマ対策を支援します。

記

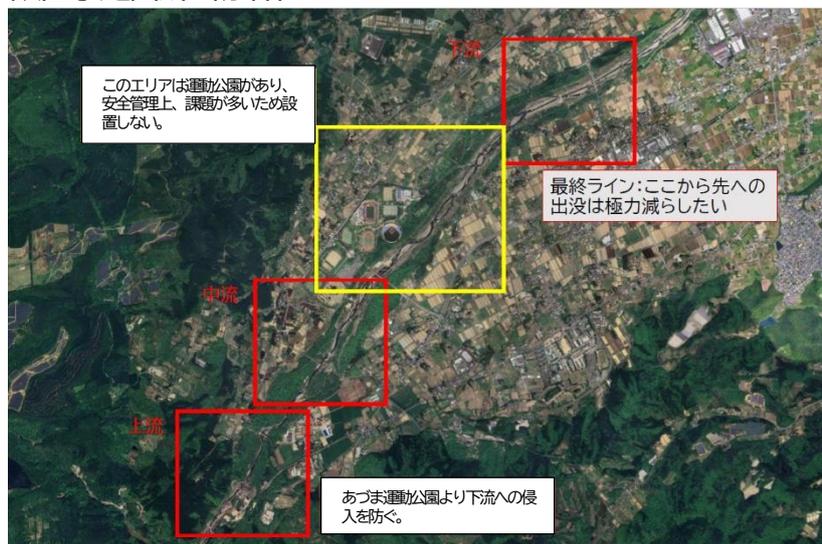
1. 忌避音響装置の設置（新規）

福島大学食農学類准教授 望月翔太氏（福島市有害鳥獣対策協議会アドバイザー）の助言をもとに、クマが嫌がる音を発生させる「忌避音響装置」を、クマが出没した荒川の上流6箇所を設置します。（8月下旬頃設置予定）

クマの移動経路である河川に設置することで市街地への出没を防ぎ、人身被害及び農業被害を防止します。

※設置後、現地での説明会を予定。

設置予定箇所（赤枠）



2. 出没抑制総合対策事業（追加）

アドバイザーの助言をもとに、放任果樹の伐採やヤブの刈り払いなど、地域の実情に応じたクマ対策の取り組みを支援するもので、現在、吾妻地区で実施しています。

新たに、追加実施するため各地域へ呼びかけ中です。

対策本部に関して：

危機管理室 計画係
室次長 伊勢、室次長補佐 鈴木
電話 024-525-3793（直通）

対策に関して：

農業企画課 農業被害対策係
課長 持地 係長 茂木
電話 024-525-3727（直通）



クマを寄せ付けない環境の改善

1 ^{きひ}忌避音響装置の設置（新規）

福島大学食農学類准教授 望月翔太氏（福島市有害鳥獣対策協議会アドバイザー）の助言のもとに、クマが嫌がる音を発生させる「忌避音響装置」を、クマが出没した荒川の上流6箇所を設置します。（8月下旬頃設置予定）

設置後、現地での説明会を予定しています。
（後日プレスリリースします。）

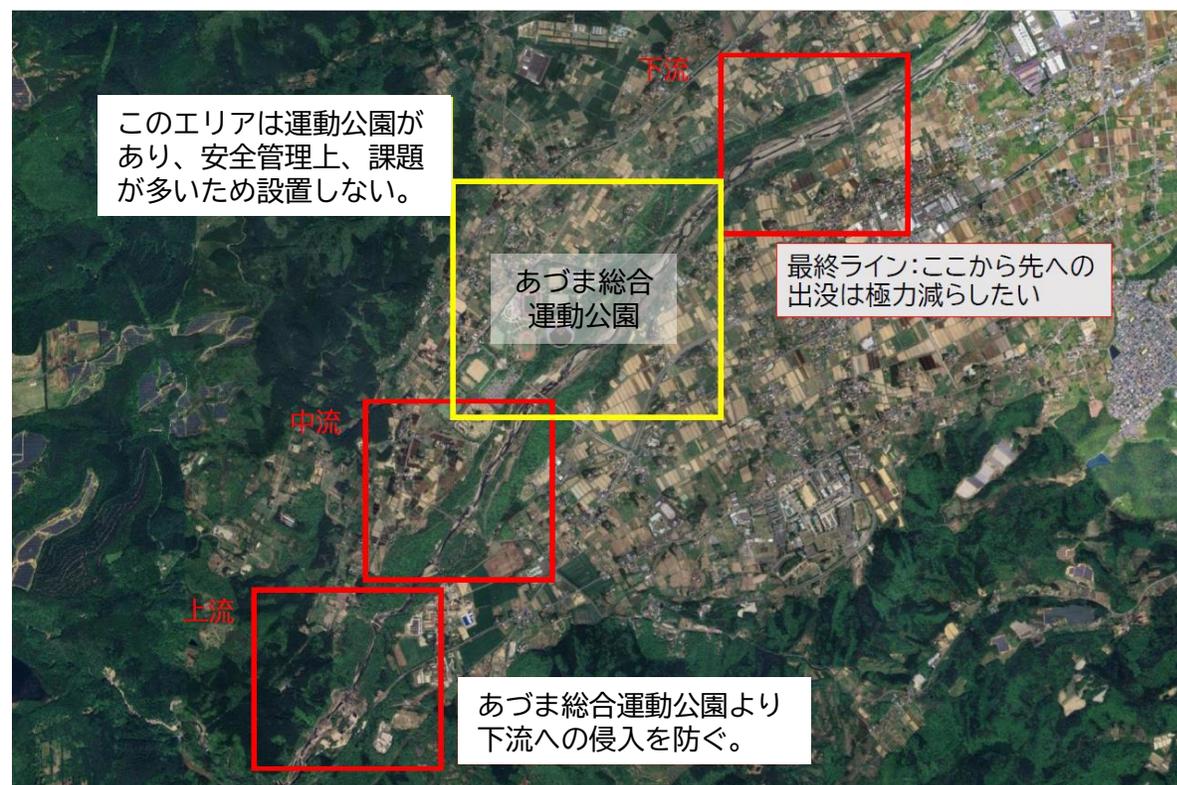
効果

クマの移動経路である河川に設置することで市街地への出没を防ぎ、人身被害及び農業被害を防止する。

○イメージ



○設置箇所 赤柾の上流、中流、下流の右岸・左岸に1基ずつ設置

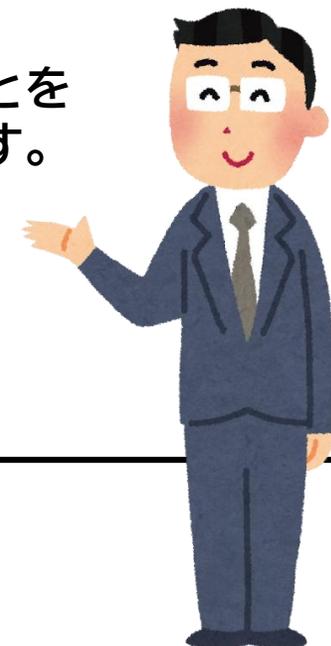


クマを寄せ付けない環境の改善

2 出沒抑制総合対策事業（追加）

県派遣アドバイザーの助言をもとに、放任果樹の伐採やヤブの刈り払いなど、地域の実情に応じたクマ対策の取り組みを支援するもので、現在、吾妻地区で実施しています。
新たに、追加実施するため各地域へ呼びかけ中です。

こんなことを
しています。



どんなことをしているの？

○アドバイザーによる勉強会



○アドバイザーと地域住民による集落環境診断

誘因木となる放任果樹の選定 → 伐採



誘引木の除去



クマを寄せ付けさせない！